



吉川小だより 2月号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和8年1月30日発行
〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210
E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



子どもが大好きな用務員さん

今回は、たいへん悲しいお知らせをお伝えしなければなりません。
本校の用務員を、およそ4年間務めていただいていた用務員の福島さんが、今月半ばにお亡くなりになりました。

学校用務員の仕事は、数えればきりが無いほどたくさんあります。

まず、廊下や階段などの掃除。校舎は広いし、子どもたちや教職員が毎日使うので、たいへんです。集めたゴミをまとめたゴミ出し。学校から出るゴミはたくさんあるので、すぐに袋がいっぱいになってしまいます。

破損した物の修繕。福島さんはとても器用な方で、教職員の頼みを優しく聞いてくれて、すぐにできるかぎりの対応をしていただきました。例えば、ベランダに野鳥が来て糞を落とさないように、いろいろ工夫をしてくれました。

忘れてならないのは運動場の草刈りです。ご存じのように、本校の運動場は、草がたくさん生えています。今年度の夏も連日暑い日が続きましたが、汗をたくさんかきながら黙々と雑草を刈ってくれました。

他にも、学校にある畑の管理、ストーブに必要な灯油の給油や管理、職員室の給食の配膳など、まだまだたくさんあります。暑さや寒さに負けず、どんな仕事にも全力で取り組む福島さんのことを、私は心の中で密かに「鉄人」とお呼びしていました。

また、福島さんは子どものことが大好きでした。子どもたちと気さくにハイタッチを交わしたり、一緒に遊んでくれたりしました。運動場で遊んだり運動会の練習に取り組んだりする子どもたちを、あたたかいまなざしで見つめておられる姿が、忘れられません。もしかしたら、子どもたちのことをかわいい孫のように感じておられたのかもしれない。

ある日、福島さんと話をしていると、子どもに関するエピソードがたくさん出てきました。私の知らないことも多くあって、子どもを理解する上でたいへん参考になりました。きっと、子どもたちも福島さんのことが大好きで、安心して話すことができたのでしょう。

福島さんとのお別れは本当に悲しいことですが、このことは子どもたちにとって、自分たちを支えてくれている大切な方々が学校にいることを改めて認識するとともに、命の大切さについて学ぶ機会となったと思います。私たち教職員も、今後より一層子どもたちに愛情を注いでいきます。

福島さん、長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

校長 谷口 浩之